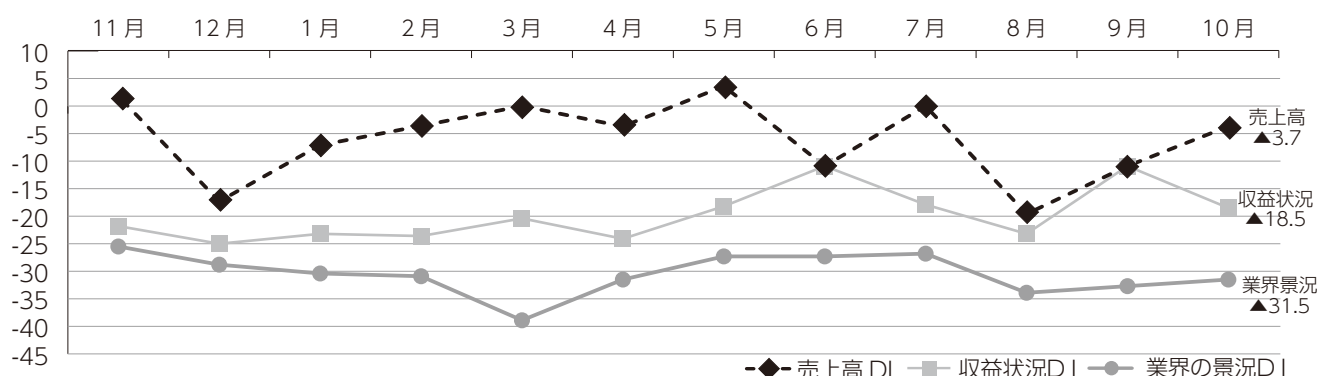


販売価格は好転するも、厳しい経営環境が続く

概況

原材料費や燃料費などのコスト高騰がほぼ全業種で継続し、価格転嫁の遅れや難しさから収益を圧迫。また、一部で後継者不足による廃業等も聞かされている。一方で、商店街によっては毎週末のイベントにより賑わいがみられ、部分的には明るい動きも見られた。

主要 DI の推移 (全体)



景況天気図 (前年同月比)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均									
製造業	食料品								
	繊維製品								
	窯業・土石								
	機械・金属								
	その他								
非製造業	卸売業						—		
	小売業						—		
	商店街						—		
	サービス業		—				—		
	建設業		—				—		
	運輸業		—				—		

減少悪化 ← → 増加好転

天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI 値を基に判断したものです。
DI 値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>【パン】 小麦価格に関して、5期連続で政府の売渡価格は引き下げられている。しかし、今後の天候や国際情勢によって価格変動の可能性があるため注視している状況。</p> <p>【菓子】 人も良く動き昨年並みの業況。今後の米・もち米の値上がりを懸念。</p> <p>【酒造】 売上数量は前年数量をキープしている組合員が多い様子。</p>
織 維 製 品	<p>【織物（桐生）】 東京での展示会は昨年比で来客数は増加したが、会場での販売は減少。12月にも京都での展示販売会を予定しており、準備を進めている。</p> <p>【刺繍】 年末商戦・ギフト需要を見据えて、生産体制を整える組合員が多い様子。技能承継・人手確保・効率化が引き続き課題。</p>
窯業・土石	<p>【コンクリートブロック】 新築着工数の低迷と、住宅価格の高騰による外構予算の減少から採用製品が廉価品に移行していることが、利益低迷の要因となっている。</p> <p>【生コンクリート】 出荷量について、中央地区はじめ多くの地区で減少したが、出荷量の多くを占める東毛地区や西毛地区で大幅に増加したため、全体では増加となった。</p> <p>【碎石】 売上高は全地域で減少。業界の景況に関して、吾妻地域は不変だが、他の地域は悪化しており、業界全体としては厳しい状況が続く。</p>
機械・金属	<p>【めっき】 最低賃金の大幅引き上げにより、定着の観点から既存社員についても、給与増額の必要性を感じている。人手・人材不足に悩んでいる企業が多い。</p> <p>【機械金属（高崎）】 全体的に売上高は伸びず、また原材料等も高騰しており収益はマイナス傾向。一方、船舶関連の受注をしている組合員は好況の様子。</p> <p>【機械金属（館林）】 取引先が廃業して減っているという話を耳にするようになった。</p>
そ の 他	<p>【製材】 業界全体の景況は社会全体と同様に、期待は高いがまだ良くない。</p> <p>【家具】 市場環境は、コスト高に加え住宅着工件数の低下傾向が続いており、厳しい。</p> <p>【紙製品】 長引く人手不足、燃料や電気料金の値上げが配送運賃や製造経費に影響し、ますます深刻。最低賃金改定の負担も感じており、価格転嫁の重要性を感じている。</p> <p>【ゴム製品】 後継者不在で廃業、経営統合等の対応をする企業が出てきている。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>【紙卸売業】 製紙各社による価格改定が実施され、仕入価格の上昇が続いている。エネルギー費や物流費の上昇も重なり、総コストの増加傾向が顕著である。コスト上昇分を十分に転嫁できず、増収減益となっており、採算性の確保が喫緊の課題となっている。</p>
小 売 業	<p>【中古自動車オークション】 出品台数・成約台数ともに前年同月比で増加した。しかし、前年実績がかなり悪かったため楽観できる状況ではない。引き続き出品台数の確保が課題。</p> <p>【生花】 いわゆる物日もなく、比較的静かな月となった。かつては婚礼や展覧会等の花需要が旺盛だったが、花材・資材が高騰したことも影響し、業界は厳しい状況にある。</p>
商 店 街	<p>【前橋市】 毎週末イベントを実施。前橋まつり時にはディズニーパレードを行ったほか、「前橋ウィッチーズ」の声優イベントを開催し、街中が多くの人で賑わった。</p> <p>【高崎市】 毎週末イベントが行われ賑わっている。しかし、物販は厳しい状況が続く。</p> <p>【富岡市】 秋の行楽シーズンが始まり、街中に観光客が多くなった。</p>
サービス業	<p>【建築設計】 公共建築の改修需要は増加も、報酬が労務に見合わず収益確保が困難。時間外労働規制で業務調整が厳しく、人材育成・継承が進みにくい。また、BIM/CIMや省エネ法改正への対応も導入コストや教育体制の負担が大きく、事務所の持続的発展が阻まれている。</p> <p>【温泉旅館】 宿泊料金が上がり、素泊まりの割合が増えている印象。また、食事処不足からコンビニで済ますケースもみられる。従業員の確保が難しいことから、繁忙期であっても定休日や休館日を導入する施設が増加してきた。</p> <p>【不動産取引】 この先のローン金利の上昇や物価高騰による住宅価格の上昇を懸念してからか、新築戸建てが目につくようになった。</p>
建 設 業	<p>【建設】 時間外労働の上限規制について、最近の予測困難な気候に対応して業務を行うには、現在の規制内容では困難との声が聞こえている。</p> <p>【電気工事】 高齢化に伴う退職や若手の人材不足から繁忙感が増している。原材料の値上げが続いており、仕事は増えても収益状況は改善していない。</p> <p>【砂利採取】 出荷量について、前年同月比約90%で推移し、生産量については、前年同月比約85%で推移。輸送力と原石の確保は依然として厳しい状況にある。</p>
運 輸 業	<p>【一般貨物運送】 冬に向けて蒔蒔の出荷が始まったが、飲料水関係が忙しくなくなり、荷動きは悪かった印象。ドライバーに外国人を採用する組合員が増加している。</p> <p>【貨物軽自動車運送】 スポットの依頼、引っ越し依頼がともに減少し、厳しい状況。</p>

※本調査は、情報連絡員56人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。